

令和6年度第1回亀有地域観光拠点施設地域検討会全体会 議事録

日 時：令和6年7月3日（水）午後7時00分～午後9時00分

会 場：亀有地区センター ホール

出席委員：27名出席、8名欠席

出席者：赤松委員、梅田委員、小河原委員、笠井委員、唐松委員、小口委員、小室会長、佐々木委員、佐藤（修）委員、佐藤（尚）委員、柴沼委員、島田副会長、千賀委員、筒井委員、鳥山（郁）委員、鳥山（太）委員、中田委員、長谷部委員、花島委員、平岩委員、平岡委員、廣田委員、福岡委員代理、藤野委員、松原委員、鞠子委員、吉田副会長（五十音順）27名出席

事務局：中島観光課長、泉谷商工振興課長、中村観光担当係長、松谷、三上、武田

- 議 題：（1）今後の進め方について
（2）デジタルスタンプラリーについて
（3）プレイベント及び開館記念イベントについて
（4）サイン整備について

〈配布資料〉

- 【資料1】今後の進め方について
- 【資料2】デジタルスタンプラリーについて
- 【資料3】プレイベント及び会館記念イベントについて
- 【資料4】サイン整備について
- 【資料5】ご意見シート
- 【参考資料】亀有地域観光拠点施設地域検討会委員名簿
- 【参考資料】亀有地域観光拠点施設ワーキンググループ委員名簿

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

- （1）今後の進め方について【資料1】

今後の検討体制（今年度地域検討会4回：7月、9月、12月、2～3月を予定）と、各回の議題設定（想定）を事務局から説明。特に意見は無し。

(2) デジタルスタンプラリーについて【資料2】

意見要旨

- ・地域検討会での意見を多く反映できるよう、委託業者決定のタイミングを早めるべきではないか。
- ・インバウンド需要を考慮して、多言語対応すべきではないか。
- ・賞品の獲得方法に工夫をした方が良い。(クイズ、スタンプ獲得数など)
- ・スタンプラリーはきっかけとして、地域での消費行動に寄与する仕組みを取り入れたほうが良い。
- ・商店の開店時間中でないと意味がないので、開催時間を考慮すべきではないか。
- ・亀有駅から半径 600m という回遊範囲は少し広いのではないか。
- ・亀有という街の地域性や、子供や年配の方への配慮を考えると、デジタルでなくアナログ(紙)のスタンプラリーが良いのではないか。(いわゆる「歩きスマホ」防止との兼ね合いも含めて)
- ・(主に施設運営についての話となるが) 業者に委託するのではなく、町会や商店街に予算を渡して運営させる方法もあるのではないか。

⇒ (事務局回答) アナログでは継続性に課題があり、デジタルになった。そのうえで、一番の目的は亀有の街に来て「こち亀記念館」館内のストーリーと本デジタルスタンプラリーによる地域回遊が相互作用することである。スタンプを集めて賞品を獲得して終了、という単調な流れにならないよう、頂戴した意見を可能な限り反映できるよう検討したい。

特に業者決定については前倒しできるよう努めていく。

質疑応答要旨

- ・デジタルスタンプラリーの実施期間はどうか。
- ⇒ (事務局回答) 令和7年度以降も継続を予定している。
- ・遊ぶためにはアプリをダウンロードする必要があるのか。
- ⇒ (事務局回答) アプリではなく、ブラウザでの稼働を想定している。
- ・どのようにスタンプラリーの参加へ誘導するのか。
- ⇒ (事務局回答) 「こち亀記念館」HP上のリンクや、館内案内などから誘導をする。

(3) プレイイベント及び開館記念イベントについて【資料3】

意見要旨

- ・亀有地区商店街協議会としても連携企画を検討している。
- ・1日だけなら、以前実施していた紙のスタンプラリーも開催できるのではないか。
- ・以前から話が有ったように、他のイベントと開催時期を合わせるなど、亀有全体で

盛り上げられるような1日となると良いのではないかと。

- ・おもてなしフェスタ（柴又）の狙いや結果について参考にしたい。

質疑応答要旨

・場所は宮前通りだけでなく、例えばリリオパークなども使用すれば広域での盛り上がりにつながるのではないかと。

⇒（事務局回答）3月の開館記念イベントは施設前（＝宮前通り）での開催となるため、交通規制をかけた場合のテストも兼ねて、1月のプレイベントを同じ場所で開催する計画である。これらのイベント実施後、効果や周辺住民の方への影響なども検証して次年度以降のイベント実施に繋げていきたい。

（4）サイン整備について【資料4】

全体的な方向性としては特に意見は無し。

質疑応答要旨

・集英社と地域活性化のための協議の延長線上として、サイン以外への展開はできないのか。

⇒（事務局回答）こち亀グッズやグルメ開発に対する補助事業を今年度中に開始できるよう、商店の方や著作権元の意向を踏まえて調整中である。

・京成線四ツ木駅の『キャプテン翼』の例のように、駅構内の階段全体を使った装飾はできないのか。

⇒（事務局回答）昨年度予算要求は行った。改めて地域から要望があったことを伝え、引き続き予算要求を行っていく。

・亀有駅の発車ベルを「こち亀」に因んだものにできないか。

⇒（事務局回答）以前JRに確認したところ、難しいとの回答であった。今後継続して協議を行っていく。

・警視庁に協力を仰ぎ、亀有駅近辺の交番にFRPの両さん像を設置できないか。

⇒（事務局回答）事務局から警視庁に確認をしておく。

（※）その他

・SNSについてはどうなっているか。

⇒（事務局回答）令和6年7月1日に開設済である。次回以降議題に入れさせていただく。

・記念館完成に向けた熱意が地域検討会に留まらないよう、各商店にも奮起してもらいたい。

⇒（亀有地区商店街協議会回答）協議会の開催頻度を増やしている。具体案については皆様にお示しできるよう、取り組みを進めているところである。

4. 今後の予定

【資料1】記載の通り、次回は9月頃の開催を予定している。詳細については時期が近付いてきた際に改めてご案内する旨、事務局より説明。

5. 閉会